

平成29年5月31日

「本明川水害タイムライン手交式」を開催

～ 試行版 完成式 ～

本明川流域減災対策協議会の一環として、本明川流域における防災関係機関が連携し、人命や地域経済を守るために先を見越した早期の災害対応を検討する「本明川タイムライン検討会」を昨年11月に発足させ、長崎県内で初の取組としてこれまで延べ6回の議論を重ねてきました。

その結果、『本明川水害タイムライン（試行版）』が完成しましたので、下記のとおり手交式を開催します。

※タイムラインとは、災害が発生することを前提として、気象、河川管理、警察、消防、交通、ライフライン等防災に関する多くの機関が事前にとるべき行動を「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して時系列に整理したもの

記

- 「本明川水害タイムライン手交式」 【別紙ー1参照】
日時：平成29年6月2日（金） 13時30分～14時45分（予定）
場所：諫早市役所 5階 大会議室

※なお、手交式終了後、タイムライン運用に向けて第7回検討会を開催致します。

○取材について

報道機関のみの公開となります。テレビカメラ等による撮影は、議事進行の妨げにならないようご配慮願います。

- 問い合わせ先： 国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
技術副所長 平井 新太郎
調査第一課長 穴井 利明
電話（代表） 095-839-9211

平成29年度本明川水害タイムライン 手交式（試行版 完成式）

式次第（案）

日 時：平成29年6月2日（金）13時30分～

場 所：諫早市役所 5階 大会議室

1. 挨拶
九州地方整備局 河川部 水災害予報センター長
光武 孝弘
2. 本明川タイムライン検討経緯の報告
九州地方整備局 長崎河川国道事務所長
垣原 清次
3. タイムライン報告・手交式
（見方、使い方等について概要を解説）
本明川タイムライン検討会 座長
松尾 一郎
（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授）
4. 諫早市長挨拶
5. 講演「平成29年度出水期の降雨の見通しについて」（仮称）
気象庁 長崎地方气象台次長
本郷 雅洋
6. 閉式の辞

（閉式後、記念撮影、記者からの質疑を予定）